

過疎地域商店の事業引継ぎによる地域活性化と新事業展開

会社名 商処美郷や

会社概要 生活用品と地域商品の販売

1. 相談のきっかけ

自動車販売会社に勤務していたが、脱サラして宮崎県の自然を活かし、県北地域にてグランピング事業を行いたい。自己資金も乏しいため、金融機関への相談や事業計画書策定についてアドバイスが欲しいということで来訪。

2. 課題整理・分析

グランピング事業実現に向けた事業計画を整理し、金融機関を交えた相談を行ったが、事業経験がなく、投資規模過大ということで融資が望めない状況であった。相談者と協議し、グランピング事業は行いたい、相談者の一番の希望である「地域貢献」を行える創業を模索することとなった。

3. 解決策の提案

将来ビジョンであるグランピング事業を行うための実績作りとして、地域課題解決を行う事業での創業を提案。事業経験がないことから、経営ノウハウの引継ぎが行える地域事業の引継ぎとして、事業引継ぎ支援センターを紹介。各種補助事業の紹介。

4. 成果

宮崎県事業引継ぎ支援センターへの登録後すぐに相談者の意向とマッチする宮崎県北地域の個人商店が紹介された。事業譲渡者と相談者が意気投合したことから承継はスムーズに行われ、令和4年に事業を承継、店舗の看板、屋号を刷新し、事業内容を引き継いだ。地域商工会にも入会され、地域の各企業から商品仕入や協業も行っており、地域に溶け込むことが出来ている。更に、eスポーツ施設の検討や当初のグランピング事業の検討を続けており、令和4年度には自動車販売の経験を活かした、「軽トラックキャンピングカー」の販売を事業化予定である。



事業を譲渡した
山田恭一郎さん

事業を引き継いだ
江並洋さん

5. 相談者の声（江並洋様）

事業を創業するにあたり、事業計画の立て方、金融機関とのやり取り等を手伝ってもらい助かった。創業や新事業を行う際にも各種補助金情報を提供してもらい助かった。当初のグランピングを行いたいという夢はまだ持っている、事業を引き継いだ商店をしっかりと継続し、現在進めようとしている軽トラックキャンピングカーの事業を軌道に乗せて実績を作り、改めてグランピング事業にもチャレンジしたい。